

まつぼっくり

島根県

むかし。

池のほとりに、大きな、大きな、大きな松の木があつて、まつぼっくりが、いっぱいなつていました。

あるとき、風が吹いて、まつぼっくりがひとつ、

チュンコロコロコロ、チャポーン

と、池の中に落ちました。すると、下にかえるがいて、

メッグルグルグル、ギヤッ

と鳴きました。

また風が吹くと、まつぼっくりが、

チュンコロコロコロ、チャポーン

池のかえるが、

メッグルグルグル、ギヤッ

チュンコロコロコロ、チャポーン

メッグルグルグル、ギヤッ

大きな大きな松の木だから、まつぼっくりは何千何万

とあつて、きりもなく落ちます。

チュンコロコロコロ、チャポーン

メッグルグルグル、ギヤッ



村上郁再話

資料『出雲の昔話』立石憲利・山根英佐恵／日本放送出版協会